



特集I

第47回

JA岩手県大会



まっすぐ良質なネギを食卓へ

今月の
表紙

あさぬま あきのり
浅沼 晶紀さん(49)

めくみ
〃 **恵**さん

あきと
〃 **晶斗**さん

いとう なおき
伊東 直輝さん

11月下旬、ネギ畑の北西には雄々しい岩手山が望み、雲間から時折覗く山肌は山頂から中腹あたりまで雪で白く染まっています。快晴の下、肌を刺すような寒風が吹き抜ける中、盛岡市下鹿妻にある浅沼晶紀さんの圃場では秋冬ネギの収穫・出荷調整作業が進められています。

晶紀さんは、前職を退職後、8年前に農業へ転身。現在は、妻・恵さんと夏秋キュウリと秋冬ネギを栽培しています。就農について「自分が手を掛けた分だけ、成果が出ると

ころに惹かれました」と話す晶紀さんは「就農した当時は、近隣の先輩農家に教わりながら、栽培のノウハウを習得しました」と振り返ります。作業のピーク時には、社員の長男・晶斗さんやアルバイトの伊東直輝さんも収穫・出荷調整に加わり、農繁期を一丸となつて乗り越えています。

露地栽培で秋冬採りのネギを栽培する場合、播種から収穫までの期間はおよそ6ヶ月。圃場での生育期間が長いため、作業量も決して少なくはありません。



『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切に、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。

収穫したネギは日光に
当てて表皮についた泥
を乾かします



ネギに残った汚れ
を一本ずつ拭き上
げてから、結束・箱
詰めしていきます



作業を分担してテンポよく進めます。出荷の最盛期
には一日で45ケースほど出荷するとのこと

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
浅沼 晶紀さん(盛岡市)	
特集I	4
第47回JA岩手県大会	
特集II	6
協同の心で、くらしを耕す 「家の光」の読みどころ	
NewsFile	8
トラクターの安全操作を学ぶ 農作業安全講習会 他	
営農情報	10
京都でトップセールス 管内産のリンゴをPR! 他	
女性部レポート	12
食べてみて! おらほのイチオシ	
年末・年始の営業のご案内	13
インフォメーション	14
冬休み親子工作教室 他	
今月のレシピ	16
ネギの肉巻き	



JAいわて中央のホームペ
ージでは、広報誌のバックナ
ンバーを公開しています。

詳しくはこちら▶



管理作業のポイントに「土
寄せ・追肥」「草取り」を挙げ
る晶紀さん。定植後は、ネギ
の軟白部を伸ばすために土寄
せを定期的に行い、同時に追
肥を施します。曲がりのない
まっすぐなネギに仕上げるた
めには、天候と生育を考慮し
ながら土寄せ・追肥をするこ
とが重要です。並行して、ネ
ギ栽培には雑草対策も欠かせ
ません。晶紀さんは「除草が
不十分だと、生育不良だけで
はなく、病害虫が発生するリ
スクも高まり、減収につながっ

てしまう」と指摘。定植から
収穫まで、夏場の猛暑と生育
旺盛な雑草との闘いが続いて
いきます。
また、根・葉切りや皮剥き、
結束、箱詰めまでを行うネギ
の出荷調整は、時間と労力を
要する工程です。「収穫から
出荷調整までの作業を家族で
分担して行うため、一日あたり
の出荷目標を決めてから作業
に入っています」と話す晶紀
さん。日別に目標を設定する
ことで、意識統一と作業効率
アップにつながっています。

晶紀さんは「農業は天候に
左右されやすい。品質や収量
への影響が大きいため、苦労も
多いです」と話す一方で、「今
は夫婦で次男の野球応援に行
くのがリフレッシュになってい
ます」と笑顔を見せます。無
理なく、長く農業を続けてい
くためには、メリハリのある働
き方は大切な条件。今後につ
いて「自分たちがやれる範囲
で、少しずつ規模を拡大して
いきたい」と見据える晶紀さ
んの言葉に、家族全員が笑顔
で頷いていました。



特集I

第47回 JA岩手県大会

メインテーマを「希望ある『純情産地いわたて』の未来を切り拓く～協力の力で支える食と農～」と題し、第47回JA岩手県大会が11月22日、盛岡市の都南文化会館・キャラホールで開かれました。

特集Iでは第47回JA岩手県大会の模様と、決議された主な内容についてご紹介します。

グループの総力挙げて 食料・農業基盤の確立を

第47回JA岩手県大会には、県内JAの組合員組織の代表者や役員ら約900人が参加しました。同大会は3年ごとに開催され、JAいわてグループの向こう3年間の取り組み方針を決議するものです。

主催者代表あいさつでは、伊藤清孝JA岩手県五連会長が「めまぐるしく変わる環境の中、今一度協同組合の原点に立ち返り、農家組合員が協同の精神のもと、岩手の大地で将来にわたって希望をもつ

て営農に邁進できるよう、組織をあげて取り組んでいく」と力強く呼び掛けました。

今大会では、次期JA岩手県大会実践期間（令和7～9年）の取り組みを決議。目指す姿として、①未来につながる岩手農業「純情産地いわたて」の確立②より豊かでありやすい地域共生社会の実現③食と農を基軸として地域に根ざした協同組合の確立と役割発揮を掲げ、組織が一体となって取り組んでいくことを確認しました。

今後、県内各JAでは、取り組みの軸となる5つの柱に基づき、単年度事業計画や中

期経営計画などを作成し、達成に向けて実践・進捗管理を行っていきます。

また、同大会の終了後に開かれた「JAいわてグループ食料・農業・農村振興フォーラム」では、元力士で大相撲解説者の舞の海秀平さんを講師に迎え、「可能性への挑戦」をテーマとした基調講演が行われました。



講演する舞の海秀平さん

希望ある「純情産地いわて」の未来を切り拓く ～協同の力で支える食と農～

取組方針

1

国民への食料の安定的供給と農業・農村の保全・維持の取り組み

2

J A経営基盤の維持と組合員組織強化の取り組み

3

協同の精神に基づく協同組合の価値・役割向上への取り組み

5つの柱

食料・農業基盤の確立

- 将来にわたる農村振興に向けた農業生産基盤の強化
- 農家手取り向上に向けた販売力の強化
- ゆるぎない食料・農業基盤を支える J A営農指導体制の強化

地域・組織・事業基盤の確立

- 組織基盤強化の取り組みを通じた組合員との関係強化
- 青年組織・女性組織の活性化
- J A事業を通じた組合員・地域住民の豊かなくらしの実現

健全・強固な経営基盤の確立

- 環境変化に適応した経営管理サイクルの確立
- 事業収支の改善
- 組合員・利用者から信頼される内部統制の確立
- J Aいわてグループの組織のあり方

協同組合運動を担う人づくり

- 経営戦略をふまえた人材戦略
- 経営戦略を担い、やり切る人材の育成
- 経営者の自己啓発・相互研鑽
- 変化に対応しうる人材育成

農業・J Aへの理解と共感の醸成

- 農業・地域の持続的発展のための広報戦略の策定・実践
- 「国消国産」を中心とした国民・県民向け広報の展開
- J Aと組合員とのつながり強化のための組合員・役職員向け組織内広報の展開

J Aいわてグループの目指す姿

1

未来につながる岩手農業
～「純情産地いわて」の確立～

2

より豊かでくらしやすい
地域共生社会の実現

3

食と農を基軸として
地域に根ざした
協同組合の確立と役割発揮

家の光

IE no HIKARI

読みどころ

令和7年5月号で創刊100周年を迎える、「家の光」。“協同の心”を育む家庭雑誌として1925年(大正14年)に創刊し、「食と農」「暮らし」「協同」「家族」をテーマに、組合員や地域に役立つ情報を提供しています。

今月の特集Ⅱでは、同誌の魅力や記事作りのこだわり、記事の活用方法などをご紹介します。



家の光12月号の表紙は歌手・郷ひろみさん

令和6年5月号から

創刊100周年に向けてリニューアル！

1

カラーページを増やし、
デザインを一新

カラーページを16ページ増やし、文字や写真が見やすく読みやすい誌面になりました。また、リニューアルにあわせて、表紙のロゴやデザインも変更しました。

2

活用度が高く、
読み応えのある内容に

特集を1本にして30ページ前後にボリュームアップ。一つのテーマをより詳しく取材し、活用しやすく読み応えのある、充実した内容にしました。

3

地域・J Aに関する
情報を充実

地域情報特集のページ数を増やし、農業・農村が抱える課題解決に役立つ事例などを多方面から紹介。J Aに関する連載もカラーページに変更しました。

Interview



「家の光」編集部
山本 樹 編集長

創刊の原点に立ち、読者の声をたいせつに

「協同の心を家庭で育む」という創刊の原点に立ち、人・組織・地域の幸せづくりをめざす農協運動の底力となる記事を制作しております。また、愛読者アンケートやモニター制度、意見交換会などを実施し、読者の声を企画に反映させる取り組みを実践しております。

読者の皆さまにおかれましては、長年に渡りご愛読をいただきありがとうございます。大正14年に「協同組合の家庭雑誌」として創刊された小誌も、おかげさまで100周年を迎えます。雑誌の原点を忘れることなく、変えるべきところは変えて、読者の皆さまの暮らしに寄り添う雑誌であり続けたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

広報担当の 押しポイント



小野寺



渡邊

手芸

季節やイベントに合わせた小物や身近な素材を使ったエコにもつながる手芸作品が掲載されています。写真付きで手順が分かりやすい「作り方」の説明は初心者にも嬉しいポイントです。



令和6年6月号



活用

誌面のキリトリ線に沿って切り取ると、レシピをカード型にして保存できるので便利です



令和6年9月号



活用

J A女性部では「家の光」を参考にしたグループ活動も盛んで、記事を活用した手芸教室などを開催しています



令和6年5月号

料理カード

旬に合わせた食材を使った「主菜」と「副菜」がバランスよく掲載されています。また、保存方法や下処理、切り方など、知っておくと便利な「料理の豆知識」も紹介されています。

家の光創刊 100 周年

シリーズ 百年を生きて

創刊100周年を記念した連載企画が12月号からスタートしました。「百年」という歳月を駆け抜けてきた人たちに、濃厚な人生の味わいを語っていただきます。第1回のインタビューは103歳の現役ピアニスト・室井摩耶子さん。いまなお、探求し続ける音楽への思いとは一。



ふれあい J A 広場



活用

令和元年12月号から令和6年4月号まで「家の光」に掲載された記事もパスワードなしで閲覧できます



家の光

IE no HIKARI

	定価(税込)
普通月号	¥629
付録月号 (1・4・5・7・9月号)	¥922
付録月号 (家計簿 12月号)	¥1,027
1年間(12冊)	¥8,782

※各支所金融窓口・各グリーンセンターに見本誌をご用意しております

お申し込み・お問い合わせ

紫波地域営農センター ☎676-3342
 矢巾地域営農センター ☎697-6211
 盛岡地域営農センター ☎638-0011
 サブセンター盛岡 ☎656-3700

Webで47都道府県のJ Aや女性組織の活動を中心に一挙公開しています。記事は毎月更新され、閲覧は無料! 全国の事例はこれからの活動の参考になることばかりです。



担当者に教わりながらトラクター操作を学ぶ参加者



トラクターの安全操作を学ぶ 農作業安全講習会

YouTube



JAは11月27日、矢巾町内の圃場で今年度3回目の農作業安全講習会を開き、13人が参加しました。

同講習会は、機械作業の経験が少なく、作業に不安を感じている人を対象に、実践体験などを通じて安全な作業に向けた知識を深めてもらおうと開催しています。トラクターを使用する前の点検作業や運転の基本操作などを座学と実習で学んだ参加者は「農業機械を使用したことがなかったが、理解しやすい内容で良かった。事故を起こさないよう気を付けたい」と振り返りました。



授業で育てた米を販売！ 盛岡市立土淵小学校お米販売会

盛岡市立土淵小学校の5年生53人は11月5日、盛岡市前潟のイオンモール盛岡で米の販売会を行いました。販売した米は、児童らがJA盛岡地域青年部厨川支部の指導のもと栽培したもので、米に「ド根性の輝き」と名付け、手作りの米袋に入れ販売しました。

参加した児童は「家族や地域の方に食べてもらいたい」と笑顔を見せ、青年部員は「田植えから稲刈りまで、栽培にのぞむ子どもたちの姿がとても頼もしく感じた。今後も継続して取り組みたい」と意気込みました。



販売した53袋(1袋3kg)は販売開始わずか5分で完売しました



「銀河のしずく」の試食を提供する晴山副部会長



試食宣伝で売れ行き好調！ (株)フジで宣伝販売会

JAは11月23日、24日の2日間、相対取引先の(株)フジの広島県・愛媛県内の6店舗で宣伝販売会を開催しました。JA水稻生産部会の晴山敏彦副部会長やJA担当者、岩手まるごとおもてなし隊やいわて純情むすめが店頭で管内の農産物をPRしました。

晴山副部会長は「試食を提供することで食味や食感などを伝えることができ、お客様の反応も非常に良かった。今後も産地との結びつきが続くよう、しっかりと米を生産して届けていきたい」と振り返りました。

・ SDGsへの
・ 取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



店頭で試食宣伝を行う部員ら



首都圏でリンゴをPR！

JAりんご部会都南支部青年部

JAりんご部会都南支部青年部は11月30日、12月1日の2日間、(株)ヤオコー(本社:埼玉県川越市)と富士シティオ(株)(本社:神奈川県横浜市)の東京都・埼玉県・神奈川県の計6店舗で、リンゴの宣伝販売会を開催しました。

当日は、同支部員やJA担当者ら7人が参加し、サンふじや「シナノゴールド」、「王林」を販売。品種ごとの特徴などを紹介しながら、管内産リンゴの魅力をPRしました。試食を味わった来店客は「普段食べているリンゴよりも味が濃く、おいしかった」と話しました。

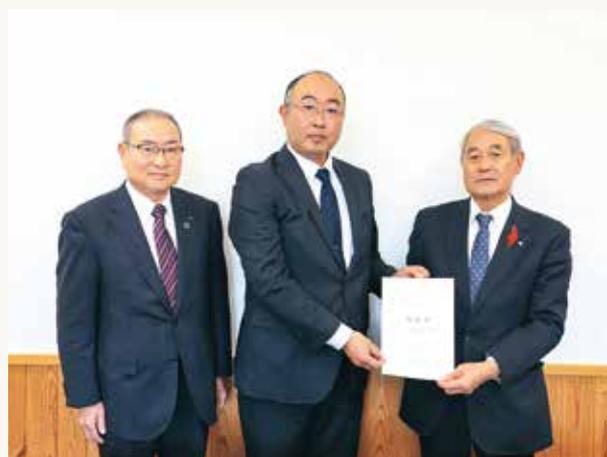


次期作に向けた支援を要請

JAぶどう部会

JAぶどう部会は11月25日、気象被害に関する支援を求める要請書を紫波町に対して提出しました。

今年は、夏場の高温や台風、雨に最も弱いとされる収穫直前のまとまった降雨の影響により、ブドウの裂果や腐敗、病害が発生。生食用・加工用ともに4割以上が販売できず、大幅な減収となりました。吉田貴浩部会長は「農業経営の継続に向け、対策を願いたい」と要請し、佐々木雅博組合長は「ここ数年は気象災害が続いており、産地の維持が喫緊の課題となっている」と理解を求めました。



佐々木組合長(左)と吉田部会長(中央)が紫波町役場を訪れ、熊谷泉町長に要請書を手交しました



豚の等身大パネルを使って解説しました



地元の子どもたちに生産者が出前授業

JA養豚専門部会

JA養豚専門部会は11月15日、紫波町の小・中学校計8校の学校給食約2,700食に、管内で飼育された豚肉2頭分(約100kg)を無償で提供しました。

同日、給食の提供にあわせ七木田一也部会長とJA担当者が紫波町立日詰小学校を訪問し、3年生55名に向けて養豚にまつわる出前授業を実施。授業後、児童らは「紫あ波せお29給食」として豚肉を使ったメニューを味わいました。七木田部会長は「命をいただくということを理解してもらうため、今後も続けたい」と話しました。

園芸

京都でトップセールス 管内産のリンゴをPR!



J Aは11月16日、京都市中央卸売市場内の京都青果合同(株)で管内産リンゴのトップセールスを開きました。佐々木雅博組合長や菅原弘範常務、J Aりんご部会の藤村智部会長、いわて純情むすめらが出席し、せり場に集まった市場関係者らにサンふじの試食を配布しな

がら、今年産の出来栄えをPRしました。

佐々木組合長は「今年はJ Aと同市場の取引が開始し、40年目の節目にあたり、今後りんごを末永く安定的にお届けできるよう、生産販売に取り組んでいく」とあいさつ。藤村部会長は「安全安心な栽培に努め、産地のこだわりである『おいしいりんご』作りに励みたい」と力強く呼び掛けました。同日に行われた初せりでは、サン



市場関係者へ試食を提供しました

総合の部「最優秀賞」に輝く！ いわて純情りんごコンテスト2024



10、11月に行われた2024いわて純情りんごコンテスト「総合の部」において、J Aりんご部会都南支部Aが最優秀賞に輝きました。

同コンテストは生産者の技術向上と県内外へいわて純情りんごをPRすることを目的にJ A全農いわてと岩手県が開催しています。「総合の部」で入賞したサンふじ5点と「シナノゴールド」3点は、11月29日に大田市場(東京都大田区)内の東京青果(株)で競売会に出品されました。

《総合の部》

順位	出品者	該当J A
最優秀賞	J Aいわて中央都南支部A	いわて中央
優秀賞	花巻農協果樹部会東和支局	いわて花巻
1等賞	J A江刺りんご部会青年部B	江刺
2等賞	J A江刺りんご部会青年部A	江刺
3等賞	J Aいわて中央青年部A	いわて中央
奨励賞	J Aいわて中央都南支部B	いわて中央

ふじ28玉入り10kgが10万円で落札され、取引の好スタートを切りました。せり終了後には、京都市府内に本社を置き、



店頭でPRするいわて純情むすめ

でスーパーマーケットを展開する(株)マツモトの2店舗で宣伝販売会を初開催し、サンふじや西洋なし「ゼネラル・レクラーク」を店頭でPR。提供した試食の食味の良さが好評で、多くの来店客が買い求めました。営農販売部園芸推進課の横澤幸樹職員は「今後も産地と消費地で情報共有を密にし、リンゴのより良い生産・販売に取り組んでいきたい」と話しました。

子牛市場情報 (令和6年11月13日・中央家畜市場)

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比		
雌	紫波	16	566,000	242,000	441,250	306	50,607	去勢	紫波	16	630,000	344,000	455,750	309	5,333
	矢巾	1	249,000	249,000	249,000	223	-100,900		矢巾	9	653,000	347,000	434,778	312	32,635
	盛岡	5	464,000	276,000	384,400	281	10,200		盛岡	5	590,000	334,000	458,200	291	-68,175
	J A計	22	566,000	242,000	419,591	297	45,832		J A計	30	653,000	334,000	449,867	307	-7,466
	市場計	104	593,000	206,000	380,663	282	4,217		市場計	142	825,000	230,000	469,937	310	15,257

知らないでは済まされない! 変化する雇用のあれこれを学ぼう //

求人者向け 農業雇用研修会

農業の雇用をしている方や今後雇用の予定がある方を対象とした研修会です。法改正や求人手続きに必要な書類の追加など雇用に関する最新情報を学び、正しい知識を身に付けましょう。

日時 令和7年 **1月28日(火)** 13時30分～15時30分(受付 13時～)

場所 都南支所2階大ホール **申込締切** 令和7年 **1月24日(金)**

内容

- ① 無料職業紹介所の利用について
- ② 雇用に関する法令と長く働いてもらえる環境づくり
講師：やばば特定社会保険労務士法人 代表社員 竹花寛幸 様
- ③ スキマバイト募集サービス「タイミー」について
講師：JA全農いわて営農支援部営農支援課 井上恭之介 様

事前予約制

研修会後、ご希望の方には個別相談会を実施いたします

お申し込みはこちら



お申し込み・お問い合わせ JAいわて中央無料職業紹介所 担当：昆 ☎676-3346 / FAX 672-1595
URL: <https://ja-iwatechuoh.or.jp/useful/job/>

令和6年産 米検査買入状況並びに等級比率 (12月3日現在)

地域	うるち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	134,567	9,047	396	52	144,062	146,398
	93.4	6.3	0.3	0.0		98.4
矢巾	134,028	2,904	170	60	137,162	141,219
	97.7	2.1	0.1	0.0		97.1
都南	78,900	2,923	—	—	81,823	103,500
	96.4	3.6	—	—		79.1
盛岡	79,811	467	—	—	80,278	83,918
	99.4	0.6	—	—		95.7
JA計	427,306	15,341	566	112	443,325	475,035
	96.4	3.5	0.1	0.0		93.3
地域	もち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	120,814	31,425	19,413	6,192	177,844	178,361
	67.9	17.7	10.9	3.5		99.7
矢巾	22,259	6,634	533	453	29,879	29,428
	74.5	22.2	1.8	1.5		101.5
都南	47	—	—	117	164	170
	28.7	—	—	71.3		96.5
盛岡	—	—	—	—	0	0
	—	—	—	—		0.0
JA計	143,120	38,059	19,946	6,762	207,887	207,959
	68.8	18.3	9.6	3.3		100.0

(上:30kg/個 下:比率%)

第22回 いわて中央畜産共進会

いわて中央畜産共進会実行委員会は11月18日、第22回いわて中央畜産共進会(肉牛・肉豚の部)を(株)いわちくで開催しました。同共進会は、管内の優良な種畜及び肉畜を集めその展示と評価を行い、家畜の増殖と飼養管理技術の改善を促し、畜産農家相互の研さんと生産意欲の高揚を図ることで畜産振興に寄与することを目的としています。褒章者は以下の通りです。

褒章者の皆さん(敬称略)

肉牛の部
 最優秀賞……………(株)畠山畜産【紫波】
 優秀賞……………松川 茂【紫波】
 優良賞……………(株)畠山畜産【紫波】

肉豚の部
 最優秀賞……………(有)七木田ファーム【紫波】
 優秀賞……………(有)アベファーム【紫波】
 優良賞……………石川 毅【盛岡】

特別賞
 盛岡市農業振興連絡協議会長賞……石川 秀三
 紫波町農業振興協議会長賞…七木田 力也
 矢巾町農業対策会議会長賞……村松 功

女性部レポート
JA Ladies
Female department Report

想いをひとつにかなえよう🍀
交流の輪を広げて活動を



普及推進運動表彰として「家の光」の部で紫波地域女性部赤石支部、「ちやぐりん」の部で矢巾地域女性部に感謝状を贈呈しました

JA女性部は11月16日、矢巾町文化会館・田園ホールで「令和6年度女性のつどい並びに家の光大会」を開き、女性部員ら229人が参加しました。

体験発表では、紫波地域女性部の彦部支部・高橋真由美さん、水分支部・生内ヨシ子さんがそれぞれの支部で行う活動などをテーマに発表。記念公演では、宮古市を中心に県内で活動する女性アンサンブルユニット「Grazia」によるミニコンサートが行われ、ヴァイオリンやフルート、ピアノが奏でる音色を楽しんだ参加者は「優しい音楽を聴き、とても豊かな気持ちになった」「日常では味わえない楽しいひとときを過ごした」と感想を寄せました。

部員
募集中!

【女性部・フレッシュ部加入のご相談・お問い合わせ】
紫波地域 ☎676-3342 矢巾地域 ☎697-6211
盛岡地域 ☎656-3700



— 出汁がしみ込んだ、
肉厚な原木シイタケを味わう —

おすすめは

やはばおでん 1袋1人前 600円(税込)

矢巾町の新たな特産品として令和2年に発売がスタートした「やはばおでん」。町特産の原木シイタケを丸ごと使用したオリジナル具材「やはばくだん」は、豚・鶏ひき肉やネギ、ショウガなどを油揚げで包んだ、食べ応え抜群な一品。具材を煮込む優しい味わいの出汁は、1人前ながらたっぷり入っているため、茶わん蒸しにするのもおすすめです。「お家で気軽に味わってほしい」と開発された同商品は、2〜3分の湯煎で食べられる手軽さだけでなく、常温保存ができ賞味期限も比較的長いので、一人暮らしの方や遠方にいる家族などへの贈り物としても親しまれています。販売は毎年10月〜3月の冬季限定(無くなり次第終了)です。

食べてみて!

おらほのイチオシ

矢巾町・煙山

矢巾観光開発(株)

(南昌の湯 矢巾町国民保養センター内)

〒028-3623 矢巾町煙山1-5

TEL 697-2310

【営業時間】9:00~21:00

【休館日】毎月第3火曜日

12月31日、1月1日、1月2日



ホームページ



Instagram

【その他販売店舗】

- ショッピングモールアルコ
- 矢巾町地域情報発信ステーションicotto
- 創作和食あかり

年末・年始の営業のご案内

○=通常営業

		12月				1月		
		28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日
		土	日	月	火	水	木	金
JAいわて中央	本所 ☎673-7011			○				
	各支所窓口			○				
	各営農センター			○				
	グリーンセンター紫波・矢巾・都南・盛岡			○				
	グリーン紫波東部・盛岡東部			○				
	資材受注センター	休		○		休		
	紫波車輛センター			○				
	紫波・矢巾農機センター			休				
	旅行センター			○				
	JAガス 燃料課 ※ 休日・夜間対応は、ページ下「JAガス(休日・夜間)」の電話番号をご確認ください			○				
ATM ※ 各ATMの営業時間については、JAいわて中央ホームページ▷店舗一覧▷ATMをご確認ください	土日・祝日の営業時間		○		土日・祝日の営業時間			
※紫波町役場ATMは12月31日(火)~1月3日(金)休業 ※矢巾町役場ATMは12月28日(土)~1月5日(日)休業								
全農 エネルギー(株)	配達灯油・軽油 岩手広域配送センター ☎0120-626-813	○	休	○	8:00~12:00	休	○	
(株)JAシンセラ	本社 ☎697-3430	休		○	休			
	サン・フレッシュ都南 ☎637-6801	○		8:00~17:00	1月4日(土)の営業は9:00~17:00			
	葬 祭	中央葬祭センター ☎698-1444	○ 24時間受付					
	シンセラホール矢巾 ☎697-5940							
	シンセラホール紫波 ☎676-7676							

緊急連絡先	自動車事故	フリーダイヤル ☎0120-258-931 (24時間365日受付)
	故障時レッカー・ロードサービス	フリーダイヤル ☎0120-063-931 (24時間365日受付)
	キャッシュカード紛失・盗難受付 ※JAカード一体系ご利用の方は三菱UFJニコスへのご連絡もお願いいたします	フリーダイヤル ☎0120-44-5342 ニコス盗難紛失受付センター フリーダイヤル ☎0120-159-674
	JAガス(休日・夜間)	カメイ株式会社 スマイル24 お客様コールセンター ☎0570-033070

予告

JAいわて中央 福袋 2025



販売日 令和7年 1月6日(月)10時~

各地域営農センターにてそれぞれ30セット限定で販売いたします
※なくなり次第終了とさせていただきます。また、事前販売・配達には行いませんので
あらかじめご了承ください

価格 1セット 1,000円(税込)

お問い合わせ 生活推進部生活推進課 ☎673-7469

内 容

紫波りんごジュース
「銀河のしずく」パックごはん
レトルトカレー
ポテトチップス
お楽しみ商品1~2点入り!

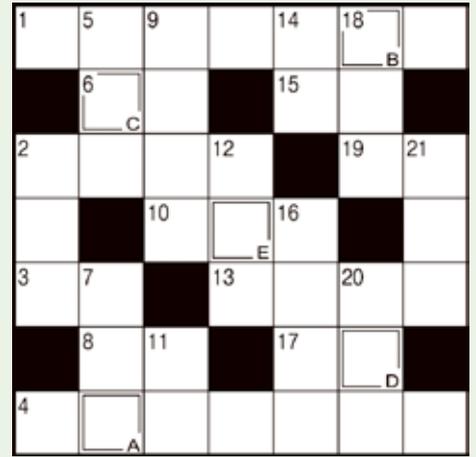
CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

11月号の答え
「ホシガキ」



今月のテーマ

2025年の抱負

応募締切 12月25日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぶ12月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ①12月24日の夜のこと。聖夜ともいいます
- ②甘いお菓子のことです
- ③—の授業で、冬の星座について学んだ
- ④昭和の頃の録音媒体。たるむと鉛筆で巻きました
- ⑥ギャンブルです
- ⑧どてらに詰められているもの
- ⑩安心したときにホッともらします
- ⑬忘年会で部長が—の音頭を取った
- ⑮サンタクロースの乗り物
- ⑰彼は—とともに認める本の虫だ
- ⑲—、乙、丙、丁

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ②墨をするときに使います
- ⑤英国の文化について学び、—を深めた
- ⑦外為の「為」を略さずにいうと
- ⑨氷の張った湖で楽しむ人もいるスポーツ
- ⑪令和6年の干支(えと)は—、令和7年は巳(み)です
- ⑫残ったおでんに具を—して煮直した
- ⑭ズボンを買ったあとで上げることも
- ⑯使ってはいけない技のこと
- ⑰だしを取るのに使う小魚の干物
- ⑲ゴルフクラブの一種です
- ⑳風邪の予防に、ガラガラガラ



おたより紹介 テーマ▶この冬やりたいこと



知り合いからたくさんの渋柿をいただきました。この冬は、まずこの柿を使って干し柿を作りたいと思います。携帯で干し柿づくりのレシピを見ながら、夜なべ仕事に取りかかります。

(南仙北・K/66歳)

この冬やりたいこと、それは編み物です。何も考えずに、ひたすら編みたいな(笑)

(乙部・S/63歳)

冬場は運動不足になりがちですし、健康管理のためにも大好きなボウリングを続けたいと思います。

(北郡山・M/74歳)

子どもが楽しみにしている「かまくら」を作ることです。絵本か何かで見たのかな？私自身も子どもの頃に、かまくらの中でおやつを食べることに憧れ、やってみた経験があります(笑)

(永井・N/39歳)

お年玉をつくるのは難しいから、箱の中へ投げ入れるなど、工夫をして遊んでいた5歳のひ孫。布に穴をあけて中身を出して、怒りたかったが、中に何が入っているのか見たかったのだらうと思えた。お手玉作りをします。

(土館・F/83歳)

2年ぶりに年越しそば・おせち料理を食べたり、初詣に行ってお詣りもしたい。

(埼玉・T/53歳)

理事会報告

11月定例理事会が11月29日、紫波支所で開かれ次の事案について決議されました

【決議事項】

1 令和6年度上半期末監事
監査の改善を要する事項
に対する回答

2 全中に対する不祥事再発
防止策の取組状況報告
(令和6年10月)

3 JAバンクに対する「J

Aいわて中央不祥事再発
防止策(兼整備計画)」
の決定および報告

4 信用事業方法書の変更

5 利益相反取引の承認

6 当座勘定貸越契約にかか
る担保設定

退職者

令和6年11月30日付で、次
の方が退職されました。

今後のご健勝とご活躍を祈
念いたします。

() は前所属。

◇高橋怜史(営農販売部園芸
推進課)

役員手帳



今こそ協同の理念を 基軸に

代表理事組合長
佐々木 雅博

このたび、職員自らが加入した建物更生共済において契約に関する不適切な事案があったことにつきまして、組合員・利用者の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をお掛けすることになり深くお詫び申し上げます。今後、このような事態が再び発生することが無いよう、内部管理態勢のより一層の強化を図り、信頼回復に努めてまいります。

さて、今年も師走となり、時が経つのを年々早く感じています。今年も能登半島地震をはじめ、各地での台風被害や大雨被害など自然災害が多く発生した年でありました。農業情勢においては、生産資材価格の高止まりによる農業経営の危機的状況が続く中、5月には「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、やっと食料安全保障が議論されてきているところです。

JAグループでは、生産コスト上昇に見合った適正な価格形成による産地の維持を図るべく、米の概算金の引き上げをはじめ農畜産物の販売価格向上に取り組んでまいりました。

現在の農業を取り巻く環境は、農業者人口の減少や高齢化など多くの課題が山積していますが、今後も、当JAの「農・ひと・自然を大切に、豊かなくらしの実現と地域社会の発展に貢献します」の理念を自覚し、事業を展開してまいります。

組合員・ご利用者の皆様

職員(LA=共済課ライフアドバイザー)の 建物更生共済自己契約に関する 不適切な事案について(お詫び)

このたび、誠に遺憾ながら当組合職員(以下、当事者)による建物更生共済の自己契約に関する不適切な事案が発覚いたしました。組合員・ご利用者の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をお掛けすることとなり、衷心よりお詫び申し上げます。事案の内容につきましては、以下の通りです。

【事案・経緯】

令和5年11月に他県のJAにおいて、「ライフアドバイザー(以下、LAといいます)自身が契約者となっている建物更生共済において、構造区分を『木造り』を『鉄骨造り』にして安い掛け金としている事案」が発覚しました。その後、JA共済連全国本部による点検が実施された結果、当組合において1件該当事案が確認されました。

内容としては、契約日(平成26年6月17日)当時、共済課のLAであった当事者が、自身の建物更生共済契約に際し、構造区分を「木造」のところ「耐火造」と誤って認識し契約したものです。

【措置・今後の対応】

当該事案につきましては、構造区分を適正に修正し、契約日に遡り適正な掛け金との差額を当事者が全額納付しております。なお、組合への被害等はありません。

この事案は、LAとして注意欠如にあたるものであり、この事案を踏まえ、行政・関係機関への報告を行い再発防止策を策定いたしました。今後、信頼回復に向け役職員一同再発防止に取り組んでまいります。

INFORMATION

冬休み親子工作教室

身近な素材で『パーカッション』と紙コップで『走るトナカイ』を作ろう!

日時 令和7年1月7日(火) 9時～

場所 JA紫波支所 2階パーフルパレス
(紫波町桜町字上野沢38-1)

対象者 JA管内の小学生(保護者同伴)

参加費 500円/一家族

申込締切 令和6年12月25日(水)



お申し込み・お問い合わせ ▶ 生活推進部 生活推進課 ☎673-7468

This month's recipe.

新鮮食材で
楽しく
クッキング
今月のレシピ
163杯目



ネギの肉巻き

材料(4人分)

ネギ…………… 3本
豚バラ肉薄切り…………… 300g
片栗粉…………… 適量
サラダ油…………… 大さじ2

【合わせダレ】

しょうゆ…………… 大さじ2
酒…………… 大さじ1
みりん…………… 大さじ1
砂糖…………… 小さじ2

作り方

- ①ネギに豚バラ肉を斜めに巻きつけ、15cm程度に切る
- ②①に片栗粉をまぶし、サラダ油をひいたフライパンで、表面に焦げ目がつくまで中火で焼く。余分な油はキッチンペーパーで吸い取る
- ③合わせダレを作り、弱火にした②に絡める。食べやすい大きさに切って出来上がり

編集後記



渡邊

「ほっぷすてっぷJAんぶ」の2024年を振り返ると、創刊300号を迎えた2月号ではこれまでの歴史をたどり、3月号からは次なる歩みへのスタートとして、企画などをリニューアルしお届けしてきました。来年も広報誌づくりを通じた出会いを大切にしながら、より一層広報活動に励んでまいります。皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください！



小野寺

創刊100周年を迎える、雑誌「家の光」。雑誌を出版し続けてきた実績は、取材・編集にかかる努力や時代に合わせる対応力の賜物だと思います。そして何より出版物の価値は読者の存在があってこそ。「ほっぷすてっぷJAんぶ」も皆さんの声を大切に、長く愛される広報誌を目指していきたいと思います。今年もありがとうございました！

最新の情報は
SNSやHPを
ご覧ください



@ja_iwatechuoh



@ja.iwatechuoh



@ja_iwatechuoh

